

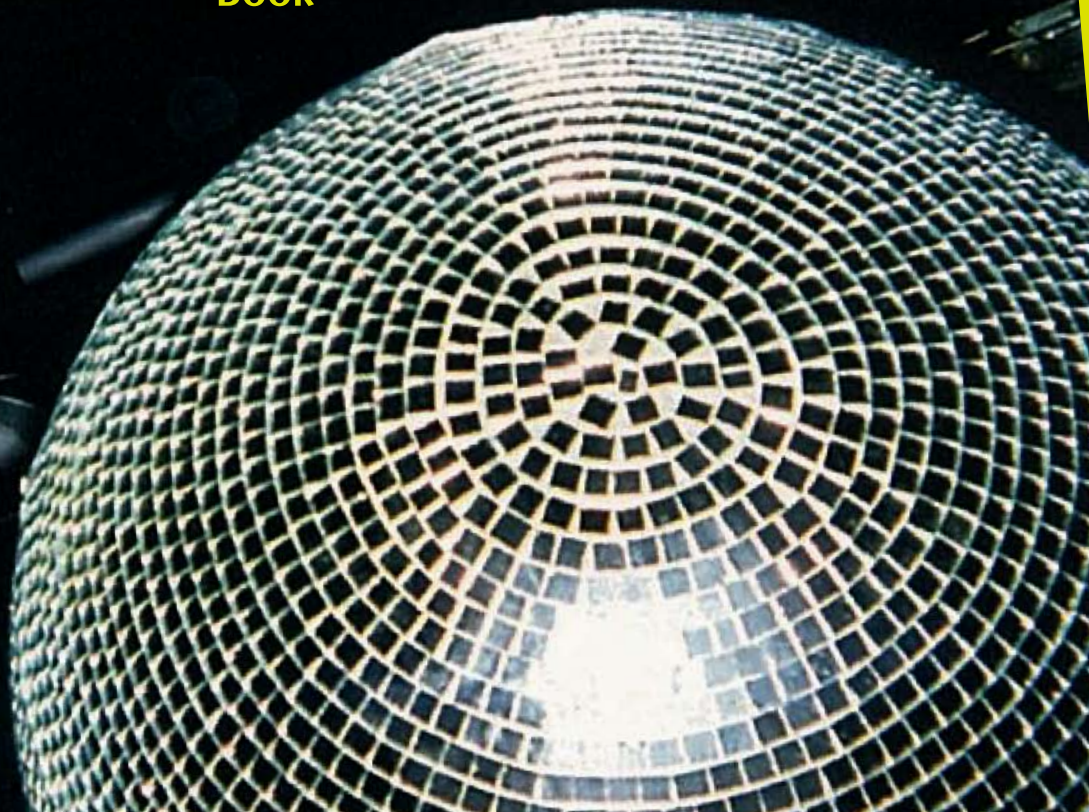
www.a-crafts.co.jp

見つけよう 均質化されていない住まい、あたらしい都市生活のかたち

issue 1

ACB

Arts&Crafts
Book



自分らしい住まいがほしい
ありきたりでない仕事場をつくりたい
そんなあなたに ACB
発行 アートアンドクラフト

家庭訪問 | 大阪市東成区H邸

もと学習塾のリノベーション P1

ニッポンの「住」

自動化された住まいはクールか 文 | 中谷ノボル P4

「街は骨折しない」

photo & column 文・写真 | 辺口芳典 P6

転用指南

special P8

AC不動産

他にはない不動産あります P10

まだがんばっています

リノベーション現場で生き残ったモノたち P12

表紙写真

記念すべき第1号の発行です。
そんな「おめでたいセレモニー」感を表したくて、
ミラーボールをフィーチャーしました。
なお、大型ミラーボールの多くが、
国内では大阪で製造されているとのこと。

アートアンドクラフトのお客さまのお住まいを紹介します

家庭 訪問



大阪市東成区H邸

もと学習塾をリノベーション



さすが学習塾をリノベしただけに 広々としたリビングルームが実現しました



スタイリッシュなキッチン 手前に見える緑色のキャップが絶妙



ホテルライクでムーディーな寝室
苔が大好きなHさんらしく壁は緑色



大阪市東成区 H邸

築25年鉄骨造4階建／延床面積約180㎡／夫婦二人住まい／学習塾併設住宅を購入してリノベーション／総コスト約3500万円

アートアンドクラフト(以下 AC): この物件を買われた経緯は？

Hさん(以下 H): 初めに、物件のオーダーしたときの事は、正直良く覚えてないんです。毎回打ち合わせ(相談? 雑談?)してるときにイメージが変わってしまったので。

で、紹介された時も、広い家があるから見てみませんか? 的な話だったので **冷やかし半分に** 見に行ったら、**うっかり購入してしまいました。**

購入の決め手は、第一に広い事。玄関広いし、屋上もあるし。

広いから色々手を入れていけそうだし、みたいな感じです。

AC: ところで昨今の「住宅」にモノ申したいことがあればガツンとお願いします!

H: 高い、小さい、素材が悪い!

AC: [リノベーションした住まい]に暮らしてみているかがですか。

H: 快適です。難点は、手を入れてない場所がやたらと気になることぐらいですかねー。そう考えると小さい家で、全部リノベーションしたほうが、さらに快適な感じはします。

AC: 今までの住まいで(良くも悪くも)思い出に残っているところはありますか?

H: 大阪に来てから、一番最初に住んだ25畳のワンルームが一番印象ののこってますね。隣がSMクラブだったので、よく叫び声とか聞こえてて。

AC: 仕事は、なんですかねー。

H: 嫁は、看護師。僕は、ヒモ?

嘘です。サラリーマン、デザイナーどっちですかねー。

AC: ありがとうございます。



顔写真のかわりに
Hさん作のイラスト

設計デザイン・工事監理

合田昌宏/アートアンドクラフト



テーマである「苔玉の似合う家」になったかは、自分では正直分からなかったけど、会社のスタッフから『武士っぽい』って言われたので、なんだか結果はピットンコ! 偶然にも大工の棟梁が奥さんの同級生のお父さんで、知っている人が携わったという事で、より大事に使ってもらえると思いましたね。

(絵を描くのと模型作りは好きやけど、文章ほんまに苦手ですもん! こんなところでお許し下さい。)

コーディネート

中村美保/アートアンドクラフト



自分の「好き」を通す人が好きだ
できあがった住まいに気負いなく暮らしてるとこを見るのはもっと好きだ
あたりまえだけど売るときのことなんかより
いまの自分のために家は選ぶべきだ
社会的な評価とか資産価値とかかなんだ?
人の出会いと同じだってこと
この人たちに出会ってあらためておもった
(熱すぎます?)

ニッポンの「住」

衣食住の衣と食では
世界のモードをリードする日本
でも、住の業界ではヘンな部分で
突出している気がします・・・

文 | 中谷ノボル

1964年 大阪生まれ
建築家（アートアンドクラフト代表）
長屋再生からキャンピングカー暮らしまで、
自ら多様な住まい方を実践し続けている
自称「住まいの求道者」 趣味は世界の水辺を旅すること



001 自動化された 住まいは クールか？

「ニッポンはクールだ!」近頃、このフレーズをよく耳にする。自分たちではあたりまえに思っていたモノが、外国人からはかっこよく見えるらしい。国が愛国心を植えつけたいのか、経済力が落ちた国民に自信を与えたいとか知らないが、謙虚さが売りのこの国にしては、やたらと自分たちをクールだと言っている気がする。某公共放送にも、それらニッポンのクールを紹介する番組がある。アニメやロボットを筆頭に、いろいろなモノをとりあげていた。「住」の部門では洗浄便座を紹介していたが、たしかに自分が初めて日本にやってきたなら、お尻を洗ってくれる便座や、手をかざすだけで水が出る水栓に「イッツ、クール!」と叫ぶのかもしれない。住まいの自動化というか、機械化というか、便利化というべきなのか、とにかく、このジャンルでニッポンは世界をリードしている。

ある独身オトコの夜。さあ、帰宅。玄関先

で鍵を探さなくても、指紋認証でドアが開く。家に入ると体に反応して廊下の照明が灯き、通り過ぎてしばらくすると暗くなる。用を足そうとトイレに行くと「いらっやいませ」という趣きで便座のふたが開き、コトが済んで立ち去ると水が流れた。知らなければポルターガイスト現象かと思うかもしれない。メシの前に風呂の自動給湯スイッチを押し、キッチンへ向う。廊下ではいちいち照明が灯る。機械というヤツは融通がきかないが、それに腹も立たなくなった。ラーメンを作り、吊戸棚から鉢を取ろうと戸のハンドルを持つと、棚が自動で下りてきた。ちょうどスープを飲み干したとき、「オユガ、ハイリマシタ」という機械っぽい女の声が聞こえてくる。どうせなら大阪弁で「ハイッタでえ」と言ってほしい。風呂に浸りながら浴室テレビでニュースを見たのち、洗面台の前で大きめのバスタオルをまとう。カガミが熱気と湿気で曇りだすが、すぐに埋め込まれたヒーターが取り除いてゆく。「そうだ、明日は雨になりそうなので、洗濯物を脱衣所で干さなきゃ」と、カベのスイッチを押すと天井が、ぽかっと開いて物干竿が下りてくる。ちなみにこの商品、「干(ほし)姫(ひめ)サマ」という名前らしい。寝る前にエアコンの自動タイマーをセットし、電動雨戸を閉めてベッドに潜り込む。リモコンで照明を消して、今日もお疲れさまでしたと一日を終えた。

これは決して特別な住まいではない。現代の日本ではこれに近い暮らしをしている人が多いはずだ。この先もますます自動化されてゆくのだろうが、「どこまでが必要で、どこからが要らない」の判断はむずかしい。需要があるからつくのか、それとも技術的に可能だからつくのか。個人的には、まったく思いつくこともなかった「すごい自動モノ」を発明してほしいと技術屋さんに期待していた。「おお、こんなコトが自動なんだ」と死ぬまでに何度も感動してみたいと思うのだ。その機能が評価されれば残っていくし、「そんなもん要らんわ」となれば市場から消えてゆくはずなのである。

しかし、最近そうでもないかと思い始めた。住宅を売る人たちの間では、他社と差別化してセールストークとするために、「高付加価値な設備機器がどれだけ満載されているか」という競争が過熱している。「そんなもん百人にひとりしか望んでないわ」というモノでさえ、あたかもそれが付いていることで、立派な住まいである、それが付いてない住宅なんて時代遅れですよという調子で、こちらが錯覚するまでまくし立てられ、イメージをすり込まれるのである。しかし気をつけよう。それら機器はあとからでも設置できるものが多い。それよりもまずは住まいとしての基本的な性能をしっかりと吟味したい。陽あたり、眺望、風

通しなど、これらはパンフレットには載っていないし数値化もしづらいものだが、住まいのとてもとても大切なポイントであり、暮らしはじめてからは取替えできないものである。ここはひとつ、住宅営業マンや設備機器メーカーのCMに洗脳されることのない、「本質を見極める目」と「機能を取捨選択できる冷静さ」を養いたい。

これは住まいでの話ではないのだが、最新のオフィスビルのトイレで手を洗おうとしたときのこと。すっかり自動だと思い込んで、水栓の前に手をかざしてじっと待っていた。「なんだあ、キミは自動じゃなかったのね・・・」気恥ずかしさと同時に、なんとなく自分がヒトとして退化してしまったように感じた。いつか災害で停電になったとき、自動水栓をどう操作すれば電気がなくても水を出せるのか？それを知っているヤツでありたい。いやいや、その前に温暖化による省エネ運動で、「自動水栓、全面禁止!」の時代がやって来るかもしれない。自分の住まいでは、自動化はほどほどにして、アナログ派でいきたいと思う。



「街は骨折しない」

「軽い弾みで街の裏側までスケートボードでクルージングしたんだ。街はいつだって裏側まで楽しいだった。プレイ。何ていうか予想がつかない組み合わせで、今日もそこから中で日常が再生されていた。リプレイは無し。充実した時間が進む。木材とコンクリートが、水色と極彩色と銀色と肌色とが固い握手をしている。リミックス。溶け合うこと。進歩的であることが手段。街は“軽さ”も“重さ”も包容してくれる。街の骨格の全体に真昼間の太陽が反射している。軽快にご機嫌良く街中が解凍されているみたいだった。」

文・写真／ 辺口芳典

大阪生まれ。
2000年ウェイストランド誌にて
文筆家としてデビュー。
2006年キヤノン写真新世紀優秀賞受賞。
文筆業のほか、写真家としても活動。
生活の中にある言葉や街自体が
発散している違和感の面白さ、
質感の強さを
切り取って顕著に提示する。

転用 指南

あたらしく誕生した大阪府の知事が、公共がつくった「箱モノ」には無駄が多すぎると訴えている。「そのとおり!」と大賛成なのだが、大阪府に限らず、今後これら箱モノを処分してゆく際、建物が解体され、土地の評価だけで売り買いされては、なんとももったいない気がする。安易に「建てては壊す」を繰り返してきたこの国であるが、これからの時代、ちょっと知恵を絞って「転用して使い続けること」も視野にいらしてほしい。「街なかにあるアレをこうは使えないの?」そんなユメのような、でもホンキの提案を考えてみました。

フェスティバルゲート ➡ ??

都市型の遊園地としては経営が成り立たなくなり、アート系NPOなどに大阪市が貸与して楽しみな展開になっていたのだが、売却の方針は変わらなかった。買い手がつかず長らく迷走したが、ようやく韓国系企業グループが取得することで落ち着いた。建物を商業施設として再利用すると聞いてホッとしているが、ジェットコースターは残されるだろうか? 「ジェットコースター付きのファミリー向けマンション誕生!」など、思い切った転用を期待したい。オーストリアではガスタंकをアパートに転用した例もある。



歩道橋 ➡ BAR など

大阪府が管理する歩道橋は300余りある。かつては通学用などとして1960年代以降設置が進んだが、少子化や高齢者にやさしくないという理由で利用者が激減している。大阪市でも200箇所ほどの歩道橋を管理しているが、塗装などメンテナンス費用が必要なので、地元から要望があれば撤去を検討するというが、撤去するにもカネがいる。そうではなく、「使いたい」という要望がないか募集してみてもどうだろう。「夕方からはBARになる歩道橋」や、「バターの練習ができる歩道橋」として使ってみたい人が、手を挙げるかもしれない。



地下駐車場 ➡ スケボーのパーク

大阪の都心部に市営の地下駐車場がある。素人でさえ、つくる前から経営不振になると予測できたが、やはりダメだった。谷町や土佐堀のそれは管理をパーク24など民間企業に委託して経営改善を図っているが、そもそも駐車場での存続ではなく、「都心の地下空間」という特徴を生かした転用を模索してほしい。「スロープを生かしてスケボーのパーク」「遮音しやすいのでライブハウス」「景観に影響しないのでパチンコなど風営法関連の店舗」など。一部は駐車場として残しても、それら施設に来る人で利用率はアップするはずである。



ダイビル本館 ➡ 近代美術館

アートアンドクラフトが入居する大正14年に建てられた民間の近代建築ビル。数年後に超高層オフィスビルに建替え予定だが、別にすぐ近くで大阪市が近代美術館を建てる計画を模索している。まさに近代に建てられたこのビルを近代美術館として再利用し、市の美術館用地をダイビルさんと交換すればお互いに金銭面でもメリットがあると思うのだが。駅舎を転用して有名なオルセー美術館よりはインパクトが小さいが、中途半端に新築で建てるよりも、収蔵コレクションに見合う壮麗な美術館ができあがることだろう。



中之島公園 ➡ ビーチ

ただいま大規模リニューアル工事で使えない中之島公園ではあるが、この5月にビーチバレーの国際大会が開催される。人気の浅尾美和さんも出場する予定だ。かねてから泳げなくても都心にビーチがほしいと思っていたので、これは絶好のチャンスと喜んだが、なんとせっかく敷きつめられた砂を、わざわざ撤去してしまうとのこと。シカゴ、バルセロナ、ムンバイなど、世界の大都市にはビル群のすぐ近くにビーチがある。パリでも数年前からセーヌ川沿いで夏場にビーチを作りはじめた。都心居住者こそビーチが恋しいのである。



大阪府庁 ➡ 耐震化して継続利用

前の太田知事の時代に、建て替えせずに使い続けることが決定した。当時の新聞で「建て替えを断念・・・」という見出しを見たが、カッコいい建物なのだから、断念なんて言わずに堂々と使い続けられたいじゃないですか。映画「ブラック・レイン」では、高倉健さんとマイケル・ダグラスが扮する刑事がいる府警本部として撮影された。きっと監督のリドリー・スコットにとっても、雰囲気がある建物だったのだろう。大阪城前という観光立地でもあるので、一部のフロアに大阪の名店レストランを誘致して開放してはどうでしょう、知事。

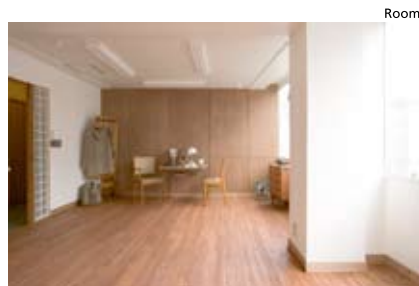


賃貸 居心地のいいオフィス アイエスビル

天然木の床の室内、屋上テラス、
もっとオフィスが好きになる！



Roof terrace



Room



Library lounge



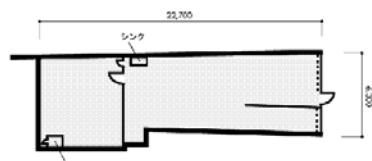
Rest room

賃貸 難波の倉庫 仕事する？住む？

広い！古い！都心どまんかの倉庫
使いこなせる方求む！



月額賃料 / 27万円
所在 / 大阪市中央区難波千日前
交通 / 南海電鉄、
地下鉄御堂筋線「難波」駅
徒歩約4分
募集対象面積 / 約148㎡
管理費、共益費 / なし
取引態様 / 仲介



売買 天王寺のちいさな戸建て クラフトハウス上本町9丁目

アートアンドクラフトがプロデュースした
カッコいい日本の住まいがここにります



販売価格 / 3280万円
所在 / 大阪市天王寺区上本町9丁目
交通 / 地下鉄谷町線
「四天王寺前夕陽ヶ丘」駅
徒歩約6分
構造 / 木造2階建て
敷地面積 / 32.39㎡
延床面積 / 53.41㎡
地目 / 宅地
用途地域 / 第二種住居地域
準防火地域 建ぺい率 80%
容積率 300%
取引態様 / 仲介



世の中に数ある不動産情報から、街
的・リノベ的・暮らし的に「コレはい
けてる!」という不動産を毎週セレクト
してWEB上の「AC 不動産」でご紹介
しています。どの物件もアートアンド
クラフトのスタッフがご案内しますの
で、リノベーションや融資といったコ
ーディネートもお任せください!

株式会社アートアンドクラフト
大阪市北区中之島 3-6-32 ダイビル1階
TEL.06-6443-1350
営業時間 10:00~18:00 水日祝休

一級建築士事務所 大阪府知事(イ) 第21250号
宅地建物取引業者 大阪府知事(2) 第46315号

古ビル お持ちの方へ

「古くなった所有のビルやアパート、貸し家
等を何とかしたい」そんな不動産オーナーさ
んの相談も受付けております。ご提案から
設計施工、賃貸募集までお世話いたします
ので一度お問合せください

TEL.06-6443-1350
または
info@a-crafts.co.jp
まで

掲載物件が成約済の場合はご容赦ください。
成約の際は規定の仲介手数料が必要です。

まだがんばってます

建物の内部を解体して再生するリノベーション
その現場で生き残ったモノたちが語ります

わたしキッチンです。働きはじめてもう30年、あっという間でした。上司は何度か変わりましたがキッチン業務一筋、大きな病気もなく単調ながら平和な日々を過ごしてきました。ところが先日、突然の社長交代。リノベーションするので、と、コンサルタントみたいな方と視察に来られたんです。リノベーションなんて、新聞で見たことはありましたが、所詮他人事、自分とは遠い世界のことだと思ってましたからびっくりしました。

個別面談があったんですけど、同期入社のユニットバスはもちろん、このあいだ中途採用で入ったばかりの洗面化粧台までも出向と聞いて、わたしもいよいよ覚悟しました。ところがですよ、「ぜひこれからよろしくお願いします」と言われて驚いたの何の。きれいなデザインの水栓金物も支給されると聞かされて、何かウラがあるんじゃないかと怖くなったほどです(笑)。昨日健康診断を受けましたが、問題なしということで同じ仕事を続けることができるようになりました。長らくベアを組んでいたガスコンロは丁度体調不良もあり早期退職したのが寂しいですね。(談)

キッチンは住宅設備機器の中でも10数万円～何百万円と最も値段幅の大きい商品だ。しかし「調理する」という基本機能は同じ。2、30年前のもののほうが機能がシンプルで部品の交換のみで再利用できることも多い。ことにホーローやステンレスの面材のものは耐久性にすぐれる。丁寧に使い込まれたキッチンは古くてもカッコいい。それはインテリアではなく調理する道具だからだ。



ACB
Arts&Crafts
Book

後記

9年間続けてきた「AC 通信」を第 36 号で終了しました。で、このたび装いもあらたに「ACB」を発行します。

アートアンドクラフトの会員へお届けするだけでなく、街のお店でも手にとっていただけるよう頒布するつもりです。

自分たちがやってきたこと、やってゆきたいことを見直すには、ホント良い機会となりました。次号はゴロっと内容が変わったり、急にやめてしまうかもしれないけれど、それがフリー誌の気楽なところ。

もし感想などいただけたら、きっと続けてゆくパワーになると思います。

発行日 / 2008年4月1日

発行人 / 中谷ノボル Arts&Crafts

編集 / 植田香・岡崎麗

表紙写真 / 辺口芳典

P1-P2 写真 / 植木直太

デザイン / 河村岳志 alt.design associates

制作・発行 /

Arts&Crafts

株式会社アート アンド クラフト

大阪市北区中之島 3-6-32 ダイビル1階

TEL.06-6443-1350

営業時間 10:00~18:00 水日祝休

一級建築士事務所 大阪府知事 (イ) 第21250 号
建設業免許 大阪府知事 (般-18) 第116939 号
宅地建物取引業者 大阪府知事 (2) 第46315 号
大阪市まちづくりコンサルタント登録

issue 1

Arts&Crafts
MEMBER SHIP
メンバーシップ

メンバーシップ登録 なさいませんか？

アートアンドクラフトではメンバーシップ
会員を募っています。

アートアンドクラフトが考える「均質化されて
いない住まい」を実現してみたい方は
ぜひ会員登録をしてください。これからの、
あなたの住まいづくりに役立つ情報・
ご案内を差し上げます。

(会費は無料です)

登録・詳細はホームページをご覧ください。

www.a-crafts.co.jp

